

# 日本赤十字社和歌山医療センター



# 病院概要

入院病総数 873床

救急体制 1~3次救急

診療科 全35科

初期研修医数 34人

(令和2年4月1日現在)

# こんなあなたにオススメ

- ✓ 救急現場で、1年目から患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、処置ができるようになりたい
- ✓ 様々な診療科をローテートしたい
- ✓ 同期と切磋琢磨したい

# 救急診療を充実するためには、 感染症診療、放射線診断が重要

救急診療

感染症診療

感染症内科医が4名で  
抗菌薬の使用などをチェック

放射線診断

当直後12時まで  
放射線科医が診断しフォロー

救急診療をサポートします

# 鍛えるレクチャー

- 集中レクチャー 週1回
- ER Board 2カ月1回
- 救急振り返り症例検討会 月1回
- EMEC（救急初期診療トレーニング）年1回

- 感染症症例カンファランス 月2回

- 放射線読影 月2回

✓ 最初は**救急**を頑張りたい

**全例応需**の北米型ER

救急受診者数 **23,000**人/年

救急車台数 **7,500**台/年

経験症例数 **1,000**例以上/2年

# 初期研修では

豊富で多彩な**救急症例**を、**1年目からfirst touch**で診察し、**2年目**、**指導医等から指導を受け、自ら診断し対応**できる。

感染症内科医  
による指導

放射線診断医  
による指導



**9領域**（内科、外科、救急科、産婦人科、小児科、  
麻酔科、整形外科、放射線科、泌尿器科）の  
**専門研修プログラム**

# 各診療科では

- オリエンテーションを行い、それぞれの研修内容について相談（何を学びたいのか）
  - 夜間などの呼び出しの希望を確認
- 7月から病棟からの呼び出しは first call
- 学会発表・論文作成のサポート
  - 2020年1月では1,2年次学会発表21演題

# 研修プログラム（1年次）

1年次	内科（必修）	24週
	救急・集中治療（必修）	12週
	外科（必修）	4週
	選択※	9週

※上記で示した選択の週数は、ゴールデンウィーク、年末・年始の連続休日などにより、少ないことがある。

# 研修プログラム（2年次）

2年次	小児科（必修）	4週
	産婦人科（必修）	4週
	救急・集中治療（必修）	8週
	地域医療（必修） （外来診療4週含む）	6週
	精神科（必修）	4週
	選択※	26週

救急・集中8週間は、救急4週間＋救急、集中、麻酔科から組み合わせて4週間選択

※上記で示した選択の週数は、ゴールデンウィーク、年末・年始の連続休日などにより、少ないことがある。

# 魅力的な地域医療

高野山総合診療所 (和歌山)



白浜はまゆう病院 (和歌山)



串本有田病院 (和歌山)



小清水赤十字病院 (北海道)



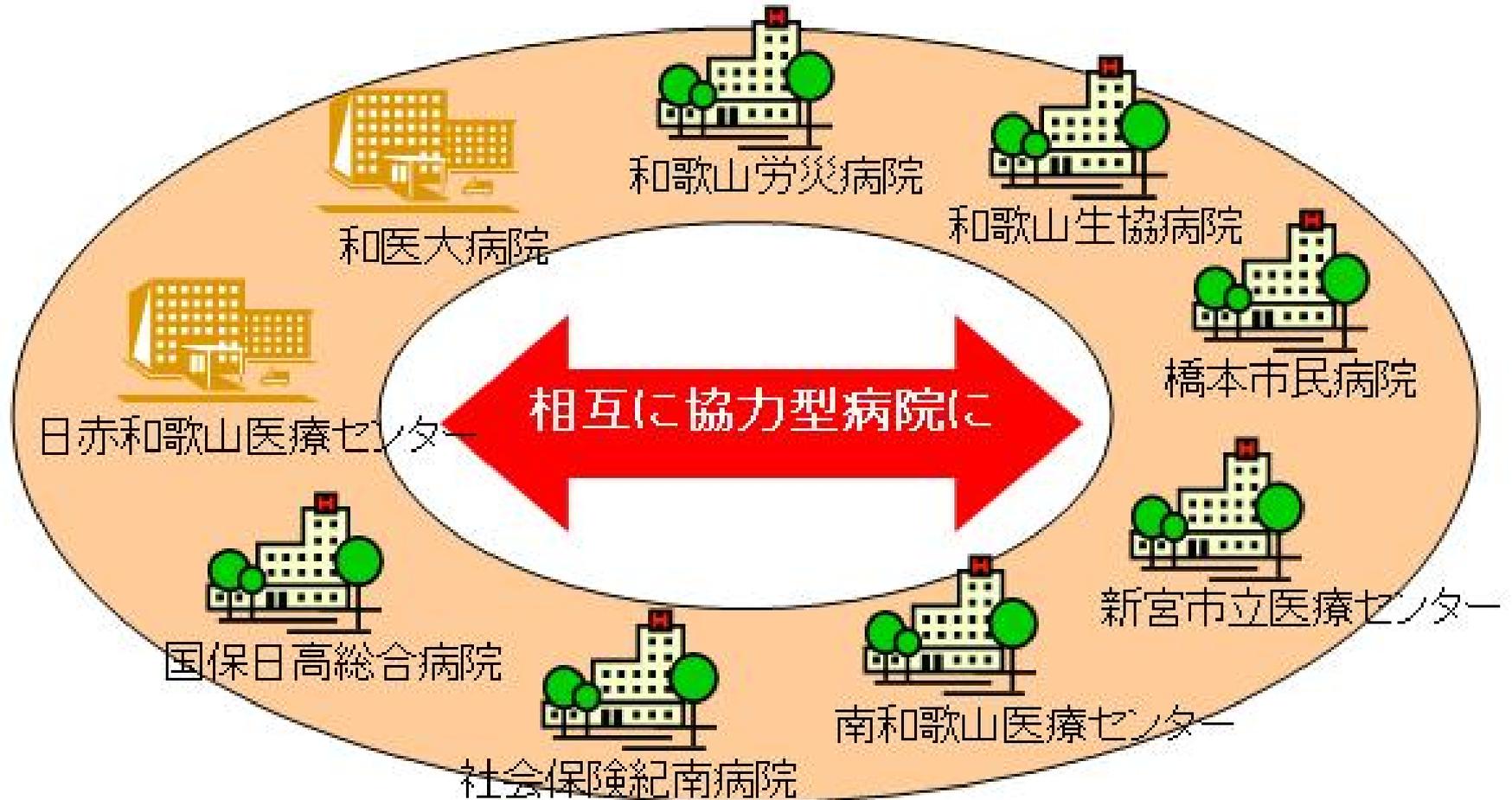
中江病院 (和歌山)



多可赤十字病院 (兵庫)



# 和歌山研修ネットワーク



県内**9**病院で研修可能

✓ 同期と**切磋琢磨**したい

定員16人+たすきがけの仲間達

研修医主体の勉強会

指導医による研修医レクチャー

著名医師による講演会

学会発表、論文作成のサポート

# 勉強のための設備・活動

研修医室完備	各人にノートPC貸与 (インターネット可)
図書室	電子ジャーナル 3,000誌 UpToDateなど
スキルラボ室	
学会活動支援	学会発表、論文作成支援 出張費支給
Off The Job Training	<b>BLS, ACLS, PALS, JATEC, ICLS, ISLS, ACLS-EP, JMECC, EMEC</b> <b>受講料全額支給！</b>
レクチャー, 講演会	1~2回/月

# 初期研修の選択 (当センターの特徴)

- どの大学を卒業したかより、どの病院で初期研修を受けたかが大切
- 救急診療での症例の豊富さ、多彩さ。1年目からfirst touchで診察。しっかりした指導体制
- 感染症内科の有無、放射線診断科のサポート
- 救急診療等で、しっかり基礎を学んだうえで9領域の専門研修プログラムへ
- オンとオフのしっかりした切り替え

# 日本赤十字社和歌山医療センター 医師臨床研修プログラム説明動画

※QRコードもしくはURLよりご視聴ください。

※2020年12月9日まで視聴可で、約26分の動画です。



<https://jobtv.mynavi.jp/rec/0171xhmMeee5qSTXJB1/>

質問などあれば、  
日本赤十字社和歌山医療センター  
研修課までご連絡ください

[w-kensyu@wakayama-med.jrc.or.jp](mailto:w-kensyu@wakayama-med.jrc.or.jp)